

製品名: Rb ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03384**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 106 kDa; Observed MW: 106 kDa

抗原情報

遺伝子名	RB1
別名	RB1; Retinoblastoma-associated protein; p105-Rb; pRb; Rb; pp110
遺伝子 ID	5925
SwissProt ID	P06400
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

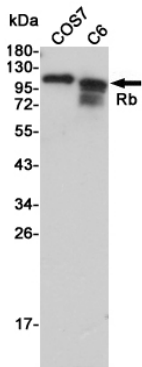
CDKによる細胞周期依存性のリン酸化は、Rb 標的への結合を阻害し、細胞周期の進行を可能にします。Rb の不活性化とそれに続く細胞周期の進行には、サイクリン D-CDK4/6 による最初のリン酸化と、それに続くサイクリン E-CDK2 によるリン酸化が必要である

と考えられます。in vitro では、様々な CDK/サイクリン複合体の特異性が観察されており、in vivo ではサイクリン D1 が Ser780 のリン酸化に必須です。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Rb 抗体を使用した COS7 および C6 溶解物中の Rb のウエスタン ブロット分析。